

KANAGAWA

一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会 <https://www.j-kana.or.jp/> email: info@j-kana.or.jp

11

November, 2019
vol. 423

Contents

建築探訪...01

会員仕事紹介...03

支部だより...05

旅行記...07

全国大会報告...09

編集者のつぶやき...10



甲府盆地の茅葺民家

夏の終わりに甲府盆地にある2つの重要文化財の建物を見てきました。昨年、地図で偶然見つけた南アルプス市の安藤家と甲府市の高室家。気になっていた二つの茅葺民家をジックリ見学してこようと急に思い立ち、日帰りで見学してきました。

最初に安藤家を訪れました。安藤家が建っているのは旧甲西町の西南湖という場所です。地名が示す如く、この地域はまるで湖のように水辺が広がっていたのだとか。車が普及する前は船で訪れた記憶がある、と地元の方が話していた場所、と聞きました。住宅地の真ん中にある安藤家周辺が湖のような風景とは、川が氾濫した時のイメージなのでしょうか。安藤家は、元は武田氏の家臣だったそうですが、その後徳川家に仕え、宝永5年（1708年）にこの地に定住し農家となり、代々名主を努めてきたそうです。静かな小さな集落に入り込み民家をすり抜けるように進んで行くと、いきなり大きな長屋門と下見板張の蔵が目に見えます。それが安藤家の入口でした。長屋門を潜ると広大な敷地が広がる中、主屋、北蔵・南蔵・文庫蔵が点在しており、何れも重要文化財に指定されています。主屋は桁行12間を越える堂々とした佇まいで、腰屋根付きの入母屋屋根が美しい建物です。茶室の離れもあり、庭には船で回遊できる池や築山がつくられています。長屋門と貴賓用の玄関へ続くアプローチの中間に中門があり、この中門から玄関に至る空間の見せ方は並々ならぬセンスを感じさせます。主屋の奥座敷の正面には樹齢350年を越える黒松が建物に劣らず存在感を示しています。松の向こうに富士山が臨めるように植えられているとか。建物も庭も、甲府盆地の農村地帯にいる事を忘れる程の優美さを感じました。

高室家は甲府市高室に建っています。耐震改修工事を含む大改修が終了したばかりで、一般公開はしていませんが、事前に甲府市に申し込むと見学可能です。高室という地は甲府市街よりもかなり南に位置しています。北半分は国母工業団地となっており、整然と工場の並ぶ風景が広がっていますが、それが、道一本隔てるだけで、水路に囲まれた中世のままの集落の空間となります。天明8年（1788年）に主屋が建ったとの事ですが、天明

ぶなのスタジオ一級建築士事務所 大西 智子

の飢饉の救済策として仕事を創出する公共工事的な位置付けで建てられた、との説もあるそうです。高室家主屋も桁行10間を越え、屋根は安藤家と同じく腰屋根のある入母屋で、やはり離れがあります。主屋は当初のままでなく、少しずつ増築されてきており、現況の状態は明治時代の形だそうです。安藤家に劣らず広大な敷地には、長屋門・前蔵・新蔵・文庫蔵・粃蔵・味噌蔵・弁財天堂が建っており、それらは全て重要文化財に指定されています。高室家も元は武田氏の家臣で現南アルプス市である櫛形町から移住したそうです。医術を学び、代々薬の調合を生業としてきたので、薬草調合の為の設備が残されており、敷地内には薬草畑もあったとの事。医療に関わる家であったけれど、離れにて月見を催し、文化人が頻繁に訪れる等、文化の発信場所でもあったようです。外構はまだ手付かずの状態ですが、文献等を基に往時を復元できたら、安藤家に負けず劣らず素晴らしい空間が出現するのかもしれない。

安藤家も高室家も、平凡な地方都市とも言える甲府盆地の一隅に、忽然と現れ、そして、一步建物内に入ると、どちらも洗練された感覚に溢れ、江戸だけが文化の中心では無かった、という事を改めて感じました。



安藤家 - 敷地内より長屋門



安藤家 - 主屋



安藤家 - 中門から玄関アプローチ



安藤家 - 母屋と樹齢350年の松



高室家 - 主屋正面



高室家 - 主屋に残る薬を収納する引出



高室家 - 土間の小屋組



高室家 - 前蔵

公共空間の使い方の積極的な提案方法

一級建築士事務所小山将史建築設計事務所 小山 将史

横須賀支部の小山です。

神事協でもこういった活動がしてみたい（若手中心にこういう活動があっても良いのでは？）という希望も兼ねて、以下、私の活動の一部をご紹介します。

今年の6月7日から16日まで10日間、象の鼻テラスで開催された『フューチャー・スケープ・プロジェクト』にJIA神奈川 若手建築家 + 法人協力会のメンバーで、ロフト付き可動式テント『ノマディック・ルーフ』を製作して出展しました。

ご存知の方も多いと思いますが、象の鼻テラスと象の鼻パークは横浜開港150周年記念事業として、横浜港発祥の地を横浜の歴史と未来をつなぐ象徴的な空間、文化観光交流拠点として、小泉アトリエの設計で2009年6月に完成した休憩所と港湾緑地です。

そして、このプロジェクトは、象の鼻テラスと横浜市が共催したもので、1年後、10年後、100年後を想像し、さらに居心地の良い、快適な場所にするアイデアを集め、みんなの夢の詰まった「未来の風景」として出現させるアートプロジェクトで、この機会に市民と一緒により良い公共空間の使い方を提案したい、我々も趣旨に賛同して参加しました。

JIAとしても、公共空間の使い方への具体的な提案をする初めての試みという事で、期待と不安で開始したのを覚えています。

具体的には、拠り所のない港湾緑地になるべく大きな大屋根、1つの大きな屋根を設けて、日除け兼雨避けを作り、浜風を感じられる半屋外空間をつくりました。

木軸とジョイント金物とワイヤーをバランス良く組合せる事によって、通常のテントよりも強く、潮風の影響を受けにくい安定した構造です。今後もう少し改善も必要ですが、可動式で、折り畳みが可能な骨組みです。

計算上は10m角まで可能ですが、今回は仮設建築物の要件の関係で、5.4m×5.4mの大きさにしました。

大空間を生み出すため、屋根はテント幕で軽

量化し、2枚の布を重ね合わせることで風が抜ける心地良さを醸し出した。

また、大きな特徴としては、木軸があり、通常のテントにはないロフトを設けることができます。この特徴によって、上は寝室、下はリビングといった立体的な使い方も可能で、特に夏場の仮説住宅等、災害時の活用も可能です。

基本的に予算0からのスタートでしたが、法人協力会や協賛企業からの支援、またクラウドファンディングからの支援もあり、何とか製作して展示する事が出来ました。

このイベント参加での主な目的は、公共空間の使い方の提案、法人協力会等との関係性の強化、若手建築家の入会促進でした。

梅雨で苦戦する日もありましたが、イベント期間は多くの来場者に恵まれ、また、法人協力会等との共同作業は一体感を生み、第一と第二の目的はかなり手応えを感じました。

一方で、第三の目的はまだこれからといった感じで、今後の受け入れ態勢強化と広報次第なのではと思いました。

このように話題性をつくる事で、様々な方々に関わってもらい、公共空間の使い方を提案することに可能性を感じています。

今後の展開としましては、空き家の利活用でもこの仕組みは有効ではと考えていて、地域拠点+αの企画を個人的にも考えていて、今その準備を進めていますので、もし、興味を持たれた方がいらっしゃいましたら、私までご連絡ください。





JIA神奈川 若手建築家・法人協定会

【JIA神奈川の建築家有志のご紹介】

小山 祥史
アトミック・ホーム・デザイン・グループ代表取締役、建築家、設計事務所「アトミック・ホーム」代表

山口 賢
アトミック・ホーム「若手建築家」代表取締役

清水 智津子
アトミック・ホーム「若手建築家」代表取締役

山下 祐平
アトミック・ホーム「若手建築家」代表取締役

井上 玄
アトミック・ホーム「若手建築家」代表取締役

【JIA神奈川の法人協会有志のご紹介】
このプロジェクトの建設に際してご賛同頂き、共に「若手建築家」の活動を支援して頂く企業様をご紹介します。

石井 造園
庭園、造園工事、築地公園、アトミック・ホームが所管する「アトミック・ホーム」にてご協力頂戴。

エフアンエヌ
建築家、建築家事務所「エフアンエヌ」にてご協力頂戴。

江間 忠木 材
アトミック・ホーム「若手建築家」代表取締役

カンディハウス
アトミック・ホーム「若手建築家」代表取締役

キクシマ
アトミック・ホーム「若手建築家」代表取締役

協進印刷
アトミック・ホーム「若手建築家」代表取締役

高島屋スペースクリエイティブ
高島屋「高島屋」にてご協力頂戴。

DNライティング
アトミック・ホーム「若手建築家」代表取締役

時久商事
アトミック・ホーム「若手建築家」代表取締役

ピアレックス・テクノロジーズ
アトミック・ホーム「若手建築家」代表取締役

星 通商
高島屋「高島屋」にてご協力頂戴。

【協賛団体・協賛企業のご紹介】
このプロジェクトの建設に際してご賛同頂き、共に「若手建築家」の活動を支援して頂く団体・企業をご紹介します。

えねこや
高島屋「高島屋」にてご協力頂戴。

築地建設
アトミック・ホーム「若手建築家」代表取締役

太陽工業
アトミック・ホーム「若手建築家」代表取締役

ナイス
アトミック・ホーム「若手建築家」代表取締役

富士
高島屋「高島屋」にてご協力頂戴。

フレームワークス
高島屋「高島屋」にてご協力頂戴。

緑屋邦
アトミック・ホーム「若手建築家」代表取締役

JIA神奈川



群馬の地/新緑の名湯草津温泉

スタジオアートクリエイト一級建築士事務所 杉本 勝郎

令和元年7月5日、6日と2年ぶりの支部研修旅行を行いました。

(第一日目) 相模原出発

- ➡臨江閣（前橋市にある国指定重要文化財 明治期の迎賓館）
- ➡旧三笠ホテル（軽井沢 国指定重要文化財）
- ➡ペイネ美術館（軽井沢 アントニン・レーモンド設計） ➡草津温泉（宿泊）

(第二日目)

- ➡チャツボミゴケ公園（中之条町 強酸性の鉱泉水が流れる所に育つ珍しいコケ）
- ➡旧太子駅（中之条町 群馬鉄山の鉄鉱石運搬の出荷駅の遺構）
- ➡ハッ場ダム（完成直前 話題の多いダム）
- ➡相模原到着

5



ペイネ美術館の前



草津温泉 湯畑にて



旧太子駅



妖しい緑の チャツボミゴケ



チャツボミゴケ公園の散策路



ハッ場ダム

大和綾瀬支部紹介

去る2月15日に綾瀬市と空き家対策に関する協定を締結しました。

締結をした団体は4団体です。

- ①神奈川県建築士事務所協会大和綾瀬支部
- ②神奈川県司法書士会
- ③神奈川県宅地建物取引業協会県央東支部
- ④神奈川県土地家屋調査士会

市と4団体が協力し、専門の分野が異なる各業界団体で相続・売却・利活用などの相談体制をつくることで、近年増加する空き家の解消や増加防止の対策を講じていきます。



大和綾瀬支部長

有限会社徳豊設計 小幡 剛志



第一回の相談会を9月26日に、綾瀬市役所で行いました。

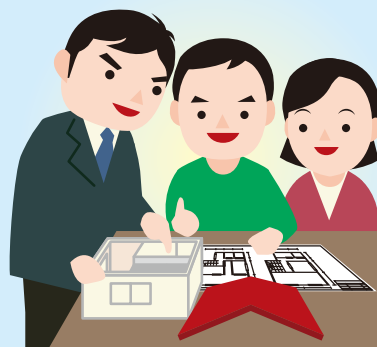
具体的な相談者が今回は残念ながら来ませんでしたが、市民の皆様綾瀬市で空き家対策を行っている宣伝ができ、これから浸透させていく中で相談が増えてくるだろうと感じました。雑談程度の話では、隣に空き家があってなど、空き家が近くにある話は聞けました。4団体での情報交換も行え、有意義な一日になり、良い取り組みでした。

大和市については、これから空き家対策に取り組みますので、協定を締結することを提案していきたいです。

6

●第3回建築しごと展●

第3回建築しごと展を2020年1月18日(土)、19日(日)にて、大和文化創造拠点「シリウス」1階ギャラリーにて行いますので、よろしくお願いいたします。



函館旅行記

株式会社4dp長友建築研究室一級建築士事務所 長友 寛昌

5年前に遡ってしまいましたが、函館へ行ってきました。とある研修旅行で行ったのですが、私にとって函館は初めての土地で、記憶に残らない旅は行っていないのと同じと考えている私にとっては、刺激のある特徴的な街として思い出に残っています。

旅の始まりは寝台列車の北斗星、廃線になる前にと夜行列車で上野から函館へ向かいました。朝早く函館に到着し、朝市で朝食、新鮮な海の幸が私を歓迎してくれました。

まずは五稜郭内の散策です。上部が跳ね出している特徴的な石垣を抜け、箱館奉行所へ。箱館奉行所は2010年に復元されたそうですが、内外装ともにとても見ごたえのある施設でした。威厳がありながらもかわいらしい物見棟が特徴的な外観、大空間を襖と障子で区切られた構成の内装は忠実に復元され、当時の様子を想像することができました。改めて紙の間仕切で区切る空間構成は、現代建築に匹敵する素晴らしい日本の技術だと感じました。

その後五稜郭タワーに登り、五稜郭の全貌を見ることが出来ました。実際に大きな星形を目の当たりにすると、圧倒的な力を感じます。普段設計の中で直角を当たり前のように考えている私にとって五角形は未知なるもので、しかも当時重機もないなか人の力でこれほどまでの大規模な工事を行ったことは驚きでしかありません。ふと五稜郭内を散策した時のことを思い返すと、方向感覚が失われていたことに気づきました。普段から東西南北と直角に自らの感覚が慣らされていることを再認識させられました。

五稜郭を後にし、函館市内観光に向かいました。トラピスチヌ修道院、旧函館区公会堂、函館ハリストス正教会、函館聖ヨハネ教会等々。函館の街の第一印象は「長崎に似てる」、以前数回行った長崎と共通することが多いと感じました。港町であり、明治の情緒を感じることもできる施設が点在し、路面電車が走り、街を見下ろす山がある。街から函館山を見上げたときに、長崎の稲佐山を思い浮かべたのは私だけではないと思いま

す。歴史を感じられる港町という意味では横浜や神戸も共通する部分が多いと思いますが、初めて訪れたのにそうではないように感じたのは、長崎の風景の記憶によるものだと思います。また加えて言うならば、長崎は福山雅治というアーティストの出身地であり、函館はGLAYを世に送り出しています。偉大なアーティストは歴史ある街から生まれるのかもしれないとさえ思いました。

日が暮れる頃、函館山に登りました。初めての土地はベタな観光スポットに限ります。展望台から望む夜景は写真で見たことがありながらも、海によってくびれた光の曲線が瞬き、想像以上の美しさでした。さてこのくびれ、私は大きな勘違いをしていたことを知ります。夜景の右側は太平洋内海湾、左側は日本海、右側の太平洋内海湾の向こうに広がるのは室蘭市、日本地図で見る菱形の北海道のあの先端部と思っていました。冷静に考えればそんなはずはないのですが、、、。後日多くの日本人が勘違いをしていることを知り、少しだけ安心しました。

「函館山の風景は、北海道の地図のあの部分ではない。」これだけは一生忘れることはありません。



北斗星、函館に到着



函館朝市



五稜郭の石垣



五稜郭、箱館奉行所



五稜郭



函館山の夜景



トラピスチヌ修道院

全国大会報告

日事連全国大会 福島大会

海老名支部 株式会社SAIplus建築設計事務所
仙波 弦

去る10月4日、福島県福島市内、福島駅と阿武隈川の間に位置する、とうほう・みんなの文化センター 大ホールにおいて、第43回日事連全国大会が行われました。

この福島大会は平成23年に開催が予定されておりましたが、震災の影響により中止になった経緯があり、それから8年の時を経て開催される運びとなりました。

テーマは「七転び・八起き～福島からのメッセージ」であり、「震災から再生、そして飛躍へ!」という大会スローガンのもと、震災から復興・創生に向かって進んでいる「福島の色」と「将来への希望」を全国に発信し、必ず復興を成し遂げるという福島の強い決意を表明したものであるという内容で、復興パネル展や物産展なども展示されており、一步一步着実に復興・創生に向かって進んでいる福島の力強さを感じました。

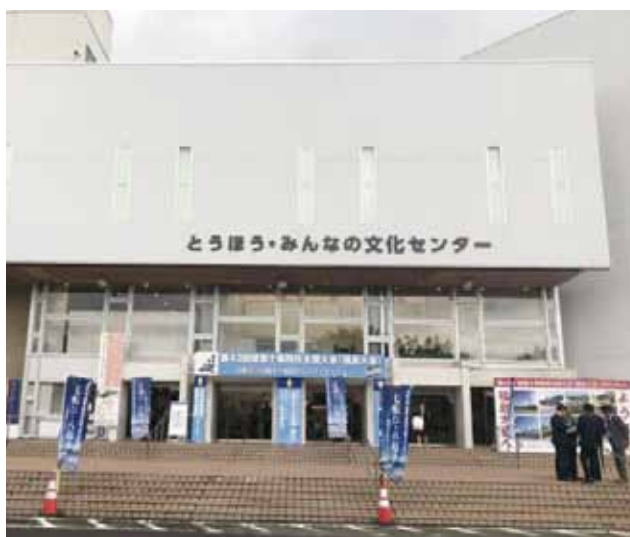
先日の台風においても重ねて自然災害が発生し、非常に困難な状況に見舞われている状況もあり、心よりお見舞い申し上げます。

そういった自然災害に対しても建築士事務所協会は、叡智を集め建築物の減災化に努め、安心安全の安定した社会づくりに貢献する事を大会宣言として掲げた通りの、座談会、式典内容になっていました。

表彰では神奈川会から年次功労者表彰者に小渡佳代子氏が、小規模建築部門の奨励賞として宝性院観音堂/PERSIMMON HILLS architects が選ばれました。

式典後の記念パーティーへの参加は地元福島会の次に神奈川会の出席が多かったとの事です。

次回大会からは各単位会を廻るようになり、福井県になります。各地の文化や自然を感じられるものと期待します。



新入会員のご紹介

9月入会者

横浜支部

井上真建築設計事務所
〒230-0077横浜市鶴見区東寺尾5-5-43-511
TEL.090-6723-1515

井上 真

大和綾瀬支部

株式会社ハコ企画
〒242-0005大和市西鶴間8-2-3
TEL.080-5462-1881

鈴木 栄典

10月入会者

横浜支部

アートテラスホーム二級建築士事務所
〒236-0031横浜市金沢区六浦3-1-10
TEL.045-791-7855 FAX.045-791-7875

石原 誠司

退会者

横浜支部

株式会社矢野建築設計事務所

矢野 武

㈲馬場工務店一級建築士事務所

馬場 博規

小田原事務所一級建築士事務所

小田原 勉

藤沢支部

松藤一級建築士事務所

松藤 公昭

茅ヶ崎寒川支部

荒木工務店二級建築士事務所

荒木 昇

秦野支部

宮村朝秋建築設計事務所

宮村 朝秋

相模原支部

株式会社ハタノ工務店建築設計事務所

畑野 雅之

変更

横浜支部

株式会社大林組 横浜支店一級建築士事務所
(指定代表者変更) 松本 和巳

横須賀支部

一級建築士事務所有限会社インテリア工房小林
(事務所名変更) 旧) 一級建築士事務所 株式会社DEN建築設計事務所

鎌倉支部

高橋宅建 一級建築士事務所
(事務所所在地変更) 〒247-0073鎌倉市植木679

平塚支部

アトリエライヴズ一級建築士事務所
(事務所所在地変更) 〒254-0807平塚市代官町1-38-201

厚木支部

奈良なおし改修設計一級建築士事務所
(事務所名、事務所所在地、TEL、FAX変更)
〒243-0816厚木市林2-1-48
TEL.046-210-8881 FAX.046-210-7616
旧) エルアフィード株式会社一級建築士事務所

賛助会新入会員

株式会社トーテック東京営業所

会 勢

令和元年10月15日現在

支部名	平成31年4月1日	現在	入会者	退会者	増減
横 浜	261	258	2	5	-3
川 崎	105	106	1	0	1
横 須 賀	50	50	0	0	0
湘 南 三 浦	18	17	0	1	-1
藤 沢	40	38	1	3	-2
鎌 倉	40	39	0	1	-1
茅ヶ崎寒川	17	16	0	1	-1
平 塚	22	22	0	0	0
秦 野	16	15	0	1	-1
伊 勢 原	6	6	0	0	0
大和綾瀬	18	20	2	0	2
厚 木	28	28	0	0	0
座 間	15	15	0	0	0
海 老 名	16	16	0	0	0
愛 川	6	6	0	0	0
相 模 原	67	65	0	2	-2
県 西	41	41	0	0	0
合 計	766	758	6	14	-8
賛助会員	100	105	5	0	5

※退会報告等の状況により会員数は常に変動しております。※入会者、退会者には支部間の異動も含まれます。

編集者のつぶやき

今年、家族に内緒で中古のキャンピングカーを購入。

子供たちが小学生くらいまでは一緒に出かけるかなとか土曜日早めに仕事を切り上げてみんなでキャンプに出掛けようとか色々、言い訳を考えたが「自分が買ったかったんでしょ」と妻から一言。良く分かっていらっしゃる。

納車した日、子供たちは大はしゃぎで車内を公園の遊具のように遊んでいました。子供からのお父さんの評価は上々です。

早速、県内のオートキャンプ場を探しましたがキャンプが大変人気があり予約が全然取れないことに驚きました。また、キャンプ以外にも箱根のユネッサンで遊んで、道の駅で車中泊して観光してからゆっくり帰ったりディズニーランドに前日の夜から駐車場に並んで開演時間に入場したりと出かける時間と範囲が広がりました。

週末を楽しくかつリーズナブルに過ごすことを目標に日々の仕事頑張ります。(大和綾瀬支部 株式会社コイグチ一級建築士事務所 小井口 英寿)



かながわ 令和元年11月号 (通号423号)

発行 令和元年11月1日 (奇数月1日発行)
 発行人 白井 勇
 発行所 一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会
 〒231-0032 横浜市中区不老町3-12 加瀬ビル201 2F
 TEL. 045-228-0755 / FAX. 045-212-3807
 印刷所 株式会社 柏苑社

担 当 副 会 長 大和田 優
 ・ 広報情報委員長 杉本 勝郎
 ・ 広報情報副委員長 加藤 一郎
 ・ 広報情報委員 雨森 隆子 有泉 絵美 赤川 真理
 ・ 小山 将史 中原 尚代
 ・ 小井口 英寿 仙波 弦
 ・ 事務局 久保田 千尋



今月の表紙

晩冬の三溪園

表紙の写真に困ったときは何故か三溪園を訪れます。四季折々の表情が楽しめるからです。温暖化の影響が度重なる台風襲来に繋がって来ている昨今、この風景にも変化が無いように祈る今日この頃です。



一般
社団法人

神奈川県建築士事務所協会

Kanagawa Architect Office Association